

# 日刊労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(労働車会館)

電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936番  
(公) 千葉 (22) 7207番

労働千葉結成10周年!

89.11.10 No. 3109

11.23

# 労働者総決起集会

新「連合」反対  
いまこそ闘う労働運動をつくりだそう

十一月二一日総評が四十年の歴史に幕をとじ、解散するとともに、新「連合」(日本労働組合総連合会)が発足する。これをめぐって総評御三家といわれた自治労・日教組などがのきなみ分裂と再編、混乱のなかにあります。労働組合運動は大流動化過程に突入します。今ほど自らの力で

たたかう労働運動が求められているときはありません。

おどしごめられていまして、資本・当局の代弁者である新「連合」がこうした労働者のためになる

交流センターの旗のもとに、たたかう労働運動をつくりあげよう。

労働運動は激動の時代をむかえた。総評・同盟といつた既成のワクは崩れ、しかも新「連合」や統一労組懇・「全労連」にいかない・いけない労組・労働者が圧倒的に多いのだ。日帝資本をめぐる情勢は激しさをより一層増すなかで、労働者への犠牲の転嫁も更に激しくなるであろう。そのときにたたかう労働運動の真価を發揮するときだ。

分配・民営化・国鉄労働運動解体攻撃とたたかう労働運動の立場にたつた闘いをなんらかしなえなかつた。このような労働組合がいつら「統一」したところで一人ひとりの労働者にとってなんの利益にもならない。今日のJR総連革マルとJR当局の姿

## 「自力・自闘・連帯」の旗のもとに結集しよう

いま労働組合をめぐつて「労働戦線の統一」とは名ばかりの分裂・再編が続いている。総評系官公労は日教組、自治労などが労使協調・戦争協力の新「連合」に参加を決定し、一方共産党系統一労組懇は「全労連」へと分裂しようとしている。

だが同時に数多くの組合が「連合」にはいかない、「全労連」にもいけないとして、独自に活動を開始している。新「連合」は八百万人と公称しているが、全国四千七百万の未組織労働者、八百万のパート労働者が苛酷な労働条件や無権利状態

しての姿をはつきりとさせた。最近では清算事業団地労委闘争にたいする敵対と妨害にしめされるよう、会社当局と一緒にとなつて「労働者のクビを切れ」と要求する運動を行つ姿のなかに新「連合」の本質があらわれている。民間大手の労組で

は資本の側からの「雇用か、企業の存続か」という攻撃に、企業防衛の立場からつねに屈服し、労働者にすさまじい犠牲を強いてきた。出向・単身赴任・転職など生活を破壊され、家族関係すら犠牲にされることにたいしての姿をはつきりとさせた。最近では清算事業団地労委闘争にたいする敵対と妨害にしめされた。よう、会社当局と一緒にとなつて「労働者のクビを切れ」と要求する運動を行つ姿のなかに新「連合」の本質があらわれている。民間大手の労組で

は資本の側からの「雇用か、企業の存続か」という攻撃に、企業防衛の立場からつねに屈服し、労働者にすさまじい犠牲を強いてきた。出向・単身赴任・転職など生活を破壊され、家族関係すら犠牲にされることにたいしての姿をはつきりとさせた。最近では清算事業団地労委闘争にたいする敵対と妨害にしめされた。よう、会社当局と一緒にとなつて「労働者のクビを切れ」と要求する運動を行つ姿のなかに新「連合」の本質があらわれている。民間大手の労組で

本部は、十一月九日以下四点にわたる緊急申し入れをおこなつた。  
一、津田沼における不当な乗務停止を直ちに解除し、津田沼支部等に対するどう喝など不当処分策動を直ちに中止すること。  
二、五五〇五七予科採用者の運転士登用について、この間の経緯を尊重し、いやしくも一部組合の横

申立てで「運転士登用を確立せしめられ」を提出

車を通すような印象を与えるなど、職場が希望をなくすような扱いをしないこと。

三、非常時以外の運転室への私服添乗は絶対に行わないこと。

四、幕張駅構内の速度制限

警報装置を誤扱いのな

いよう改善すること。

以 上

全組合員が血を流し、涙を流し、そして勝利した10年!

処分粉碎、運転保安確立、清算事業団組合員の原職奪還へ、組織破壊攻撃粉碎へ、ストライキでたたかおう。

十一・二三集会をたたかう労働運動の開始のときとして、全力で結集しよう。

存在ではないことははつきりしています。  
いまこそ「自力・自闘・連帶」をかけた全国労働者のもとに、たたかう労働運動をつくりあげよう。

宮下公園へ

全力で

結集しよう

こそ新「連合」と日帝支配階級との姿もある。